

概要版

# 第3次 松戸市地域福祉計画 (2018～2022年度)

みんな  
で築く  
福祉の  
まち

あなたが  
主役  
参加と  
支え合  
いのま  
ちを  
目指し  
て



高校生と赤ちゃんの  
ふれあい体験



ふれあい花壇



ふれあい・  
いきいきサロン



防犯パトロール

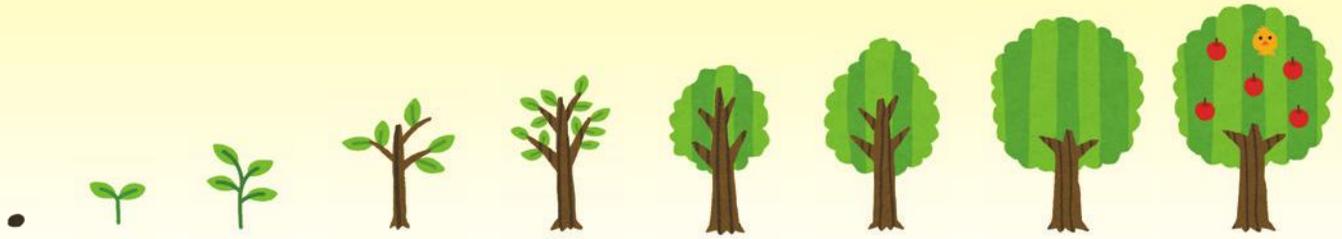


ふれあい  
フェスティバル



海外から来たママと  
パパの広場

平成30年1月  
松戸市



基本目標

1

# 安心して暮らせるまちづくり

～困ったときは、誰もが助け合える地域に～

## それぞれの役割

### 個人(自助)の役割

- 防災知識を身に付ける
- 子ども・高齢者・認知症や障害のある人等について理解を深める
- 自らの健康は自ら管理する意識を持つ
- 相談窓口に関する情報を収集する
- 地域包括ケアシステム・権利擁護・生活困窮者自立支援制度を知る など

### 地域(共助)の役割

- 災害時の安否確認、避難誘導の体制づくりに努める
- 防犯ボランティア活動の実施
- 多職種との連携を推進する
- 相談事業所の周知を図る
- 地域の助け合い活動の活発化を推進する
- 権利擁護の制度を理解する
- 松戸市自立相談支援センターを紹介、案内する など



### 行政(公助)の役割

- 避難行動要支援者避難支援体制の充実、名簿活用の促進
- 「松戸市健康増進計画」の推進、実行
- 相談窓口の周知を効果的に行う ● 地域ケア会議の充実を図る
- 権利擁護の制度を周知する ● 生活困窮者自立支援制度を周知する など



# あなたが主役

住民の皆さま一人ひとりが地域

基本目標

2

## 自立と参加の促進

～参加と支え合いの福祉のまちづくり～

### それぞれの役割

#### 個人(自助)の役割

- 地域で活動する制度ボランティアに積極的に相談する
- 生涯学習活動、地域活動に参加する
- 生涯学習の成果を地域活動で生かす
- 社会参加への意識を持つ
- 地域における生活課題について共通の認識を持つ
- ボランティア活動に興味・関心をもち、積極的に参加する



など

#### 地域(共助)の役割

- 制度ボランティア、町会・自治会などの各種地域団体の連携
- 自発的な学習活動と社会教育関係団体の活動の推進
- 事業者は働く男女の家庭生活などに配慮した就業環境の整備
- 地域での学習会、勉強会、各種講座を開催する

など

#### 行政(公助)の役割

- 制度ボランティアの活動について周知する
- 生涯学習・地域活動のコーディネート
- 生涯学習情報の提供
- 就労の総合的な支援体制の整備
- 地域福祉活動の情報の積極的な提供
- 「第2次松戸市障害者計画」の推進



など

# ～参加と支え合いの まちを目指して～



基本目標

3

## 支え合い共に生きるまちづくり

～独りぼっちをつくらない、顔の見える地域に～

### それぞれの役割

#### 個人(自助)の役割

- 地域の一員として地域福祉活動の担い手になる
- 市社協や地区社協の活動内容を知る
- 隣近所に住む人を知り、あいさつや声かけを心がける
- 虐待予防について知識を深める
- 地域での行事、イベントへ参加する
- 子どもや子育ての現状を理解する



など

#### 地域(共助)の役割

- 地区社協や地域福祉に関する組織・団体との連携を強化する
- 声かけ、見守り活動を地域での運動に広げていく
- 虐待の見守り、通報、早期発見に努める
- 福祉施設と地域の交流を深める
- 出産や子育てを想像できる機会を確保する

など

#### 行政(公助)の役割

- 老人クラブ等の活動を支援する
- 市社協、地区社協の活動を支援する
- 生活困窮者などに対する事業所との連携
- 虐待に対する相談体制を整備する
- 虐待防止の意識啓発をする
- 福祉教育を推進する
- 誰もが参加しやすい行事、イベントを開催する

など



まつど市民活動  
サポートセンター



松戸市社会福祉協議会  
マスコットキャラクター まっころん

基本目標

4

## 福祉文化の創造

～全ての人を柔らかく包み込む優しい都市に～

### それぞれの役割

#### 個人(自助)の役割

- お互いを尊重する
- 思いやりやいたわりの気持ちを持つ
- 困っている人を見かけたら声をかける
- 世代間交流行事に参加する
- 自分の持つ知識、経験を世代間交流事業に生かす
- 学校の福祉教育の取り組みに協力する



など

#### 地域(共助)の役割

- 行事、イベントの開催は、市民が参加しやすいように配慮する
- 学校等における福祉教育の充実
- 世代間交流の場を設定する
- 地域の子どもや高齢者に対する声かけを行う
- 福祉教育に全面的に協力・推進する
- 地域社会において、文化を共有し、継承していく

など

#### 行政(公助)の役割

- ノーマライゼーションの普及、推進
- 世代間交流事業への参加促進のためのPRを支援する
- 福祉教育の取り組みを支援する
- 福祉教育の機会の提供に協力する
- 地域の文化などの啓発、育成、支援、保護、活用に努める

など

# 地域福祉計画体系図

## 体系図

基本理念

基本目標

取り組み課題

みんなで築く福祉のまち

**基本目標1**  
安心して暮らせるまちづくり

- 1 地域での防災・避難行動要支援者の避難支援体制づくり **【推進項目】**
- 2 快適な生活環境づくり
- 3 地域での防犯・安全対策
- 4 障壁のないまちづくり
- 5 健康づくりの推進
- 6 地域医療の充実
- 7 相談支援・情報提供の充実
- 8 地域包括ケアシステムの構築
- 9 生活を守る権利擁護の普及
- 10 生活困窮者の自立支援
- 11 利用者本位のサービスの提供・福祉サービスの質の向上

**基本目標2**  
自立と参加の促進

- 1 制度ボランティア活動の推進
- 2 生涯学習の推進
- 3 就労の支援
- 4 地域福祉推進のための担い手の育成 **【推進項目】**
- 5 障害者の自立した地域生活の支援
- 6 当事者団体への支援

**基本目標3**  
支え合い共に生きるまちづくり

- 1 ボランティア活動・NPO活動への支援
- 2 社会福祉協議会・地区社会福祉協議会の充実、強化
- 3 地域での支え合い活動の推進～孤立させない地域づくり～  
《声かけ・見守りの推進》 **【重点項目】**
- 4 子どもや高齢者、障害者等への虐待・暴力の防止
- 5 地域での交流・ふれあいの場づくり **【推進項目】**
- 6 子ども・子育て支援

**基本目標4**  
福祉文化の創造

- 1 心のバリアフリー
- 2 世代間交流
- 3 福祉教育の推進
- 4 ふるさとづくりの推進 **【推進項目】**



基本目標1-1  
避難行動要支援者名簿登録ポスター

## 松戸ボランティア ハンドブック

2016年～2017年版



基本目標2-4  
松戸市社会福祉協議会  
ボランティアハンドブック



基本目標3-3  
常盤平団地あいさつ運動



基本目標4-4  
共同募金オリジナルマスコットキャラクター  
びわびよ

# これからの地域福祉

従来、「福祉」は、高齢者、障害者、児童など分野別に行政が必要な福祉サービスを「特定の人のため」にあるものと考えることが一般的でした。

しかし、本来、誰もが、日々の暮らしの中で、常に、何らかの問題を抱え、個人の努力や家族、友人、近隣、ボランティア活動などの助け（「自助・共助」）や行政が担う福祉サービス（「公助」）によって、課題を解決しています。

そのため、自助、共助、公助がバランスよく地域の中で、機能することがとても重要です。

本市は、すべての市民が安心してそれぞれの場でいきいきと暮らせるよう分野別の行政サービスを地域社会の支え合う仕組みづくりと融合させ、双方の充実を図ります。

## 地域社会



●目指すべき地域 ～社会的孤立がない、排除しない～  
支え手側と受け手側が常に固定しているのではなく誰もが居場所や役割があり、課題を持っていても誰かに相談でき、誰かが手を差し伸べてくれ、多様な価値観が尊重され、疎外されないことがない。

## 地域福祉推進地区 (日常生活圏域)

地域福祉を推進するには一般的に人口2万人ぐらいの中学校区や人口1万人ぐらいの小学校区がひとつの地区として想定されています。

本市では、人口や交通、さらには福祉施設や福祉団体などの社会福祉資源の配置などを考慮して、市内にある15地区社会福祉協議会の地区割りをその単位とし、「地域福祉推進地区」として設定します。

「松戸市高齢者保健福祉計画・松戸市介護保険事業計画」において設定される日常生活圏域においても、この地域福祉推進地区の整合を図っています。





## 「まつどDEいきいき高齢者」&「まつどDE子育て」

松戸市ホームページのトップページに情報サイト入口がありますので、  
クリックしてぜひご覧下さい。

第3次松戸市地域福祉計画

平成30年1月

発行 松戸市

編集 松戸市健康福祉部地域福祉課

〒271-8588 松戸市根本 387-5

TEL 047-366-3019